

授業科目(ナンバリング)	地域福祉論 A (DA203) (実践的教育科目)			担当教員	韓 榮芝 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
地域福祉に関する理念と歴史、地域福祉推進の担い手の役割と実情を事前調べやグループワークを通じて学び、後期の地域福祉論 B と併せ、全ての人の人権と自己決定、及び地域における福祉の問題について考え、地域福祉の現場（特に中核都市である佐世保市など）で直面する課題に主体的・積極的に対処する基礎的な力(ディスカッションや発表を行うことによって課題解決力)を身に付けることを目的とする。							①②③⑧⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法	評価比率
専門力	基礎的な地域福祉に関する用語を理解し、地域課題に積極的に取り組むことができる。					定期試験 レポート	25% 5%
情報収集、分析力	(1) 地域福祉の担い手のそれぞれの役割を整理できる。 (2) 行政や社協など福祉機関の情報を集め、既存資料の整理や新たな情報の獲得ができる。					レポート 定期試験	5% 25%
コミュニケーション力	地域福祉の現状と課題をテーマに合わせて表現できる。					授業への取組み	10%
協働・課題解決力	社協の実践活動(DVD)を通して、地域福祉の理念を理解し、多職種連携・協働の重要性を説明することができる。					プレゼン 小テスト	5% 5%
多様性理解力	地域福祉の歴史を踏まえ、現代地域社会の課題を把握し、様々な問題所在について考えることができる。					事前調べシート 小テスト	15% 5%
出 席						受験要件	
合 計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
定期試験の成績を 50%とし筆記試験を行う(択一式、記述問題など)。 小テストは、第 4 回目・9 回目・13 回目に 15 分程度の小テストを行う。 課題レポートは、第 6 回目・11 回目にそれまでの授業内容に関する課題を問う。 毎回の事前調べシートの欄に記入した内容、コメント・質疑応答も授業への参加意欲と理解度の評価対象とする。 また、ポートフォリオの課題、レポート、小テストなどのフィードバックを授業で行う。ポートフォリオで、課題などのフィードバックを行うので確認すること。なお、不適切な授業態度(教科書を持参しない、遅刻、私語、携帯電話などの使用、居眠りなど)は、発覚した場合に減点の対象となる。							
授業の概要							
地域福祉の基本的考え方と推進方法を知り、地域福祉に関わる地方自治体・社会福祉法人・社会福祉協議会、住民組織、NPO・ボランティアなどの機関・団体の役割と機能について、社会福祉法人職員の実務経験を有する教員がその知見に基づき、地域福祉が置かれている現状と課題について学ぶ。 この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、180 分とする。							
教科書・参考書							
教科書：社会福祉士養成講座編集委員会編 新・社会福祉士養成講座 9「地域福祉の理論と方法―地域福祉論」 参考書：必要に応じ指示する 指定図書：社会福祉士養成講座編集委員会編 新・社会福祉士養成講座 9「地域福祉の理論と方法―地域福祉論」							
授業外における学修及び学生に期待すること							
指定教科書の次回授業予告箇所は必ず事前の一読して授業に臨むこと。 予習をしていれば多少難解でも授業は十分理解できるようになる。 また、講義を受けた後でその箇所を再読すれば、授業と復習とによって理解は確実なものとなる。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	地域福祉を学ぶ意義	地域福祉とは何か、その理論と目標を学ぶ	地域問題とは何か、自分なりに考えてみる。1章1節の内容を読んでまとめておく。
2	地域福祉の歴史	日本・欧米での地域福祉の発展過程を学ぶ 事前調べた内容を各グループで確かめ合う学修を行う	1章1節を復習し、1章2節内容を読んでまとめておく。
3	住民協働による福祉	公私協働による地域福祉展開の必要性とその方法を学ぶ	1章2節を復習し、2章1節内容を読んでまとめておく。 (小テストの準備)
4	地域福祉理論の発展と広がり	戦後のわが国における地域福祉理論の発展と実践の広がりを学ぶ 事前調べた内容を各グループで確かめ合う学修を行う 第1章の内容を小テストする	2章1節を復習し、2章2節内容を読んでまとめておく。
5	地域自立生活支援と地域福祉	自立生活の視点と支援の枠組みと地域福祉のそれを学ぶ	2章2節を復習し、2章3節内容を読んでまとめておく。 課題レポートの作成
6	地域の捉え方と福祉圏域	地域の捉え方と重層的な生活圏域設定の意義と方法を学ぶ 事前調べた内容を各グループで確かめ合う学修を行う	2章3節を復習し、2章4節内容を読んでまとめておく。
7	地域福祉の推進と福祉教育	住民の福祉意識の醸成と主体形成に関わる福祉教育の在り方について学ぶ	2章1-3節を復習し、3章1-3節内容を読んでまとめておく。
8	地域分権と地域福祉計画	社会福祉における地方分権と地域福祉計画について学ぶ 事前調べた内容を各グループで確かめ合う学修を行う	3章1-3節を復習し、4章1節内容を読んでまとめておく。 (小テストの準備)
9	社会福祉協議会の役割と実際	社会福祉協議会の歴史と現状、地域福祉推進に果たす社会福祉協議会の今後の役割と課題について学ぶ 第2章～3章内容を小テストする	4章1節を復習し、4章2節内容を読んでまとめておく。
10	社会福祉法人の役割と実際	社会福祉法人の歴史と現状、地域福祉推進に果たす社会福祉法人の今後の役割と課題について学ぶ	4章2節を復習し、4章3節内容を読んでまとめておく。
11	NPO 法人の役割とボランティア活動	NPO 法人やボランティアの歴史と現状、地域福祉推進に果たすNPO 法人とボランティアの今後の役割と課題について学ぶ	4章3節を復習し、4章4節内容を読んでまとめておく。 課題レポートの作成
12	民生委員・児童委員、保護司	民生委員・児童委員、保護司の歴史と現状、地域福祉推進に果たす民生委員・児童委員、保護司の今後の役割と課題について学ぶ 事前調べた内容を各グループで確かめ合う学修を行う	4章4節を復習し、4章5-6節内容を読んでまとめておく。 (小テストの準備)
13	コミュニティーソーシャルワークと専門職の役割①	コミュニティーソーシャルワークの展開と社会福祉士の役割と機能及び課題について学ぶ 第4章の内容を小テストする	4章5-6節を復習し、5章1-3節内容を読んでまとめておく。
14	コミュニティーソーシャルワークと専門職の役割②	専門多職種チームアプローチとコミュニティーソーシャルワークにおける社会福祉士の役割と機能及び課題について学ぶ (ゲストスピーカー・実務家)	5章1-3節を復習し、5章4-5節内容を読んでまとめておく。レポートの作成
15	住民参加の意義と方法	地域福祉推進における住民参加の意義と役割及び課題について学ぶ (ゲストスピーカー・実務家)	5章4-5節を復習する。 レポートの作成 定期試験の総復習
16	定期試験		